

キャタピラー

適用範囲	モデル名		D3K		D4K		D5K
	仕様		XL	LGP	XL	LGP	XL
	適用号機		FFF00001～	LLL00001～	MMM00001～	RRR00001～	WWW00001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度					
		ハイアイドリング	rpm	2650	2650	2650	2650
		ローアイドリング	rpm	950	950	950	950
		トルコンストール状態	rpm	—	—	—	—
		(冷却水温)	(℃)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)
		(作動油温)	(℃)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)
	エンジン油圧	エンジン油圧	kgf/cm ²	2.9～	2.9～	2.9～	2.9～
		(油温)	KPa	280～	280～	280～	280～
	弁すき間	(回転速度)	(rpm)	(60～70)	(60～70)	(60～70)	(60～70)
		(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)
		弁すき間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05
燃料装置	燃料装置	吸気弁 スキ間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05
		排気弁 スキ間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05
		[測定条件]	[]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]
		気筒間圧縮圧力差	kg/cm ²	～3.6	～3.6	～3.6	～3.6
		(冷却水温)	KPa	350	350	350	350
	冷却装置	(回転速度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(rpm)	(rpm)	(250)	(250)	(250)	(250)
		噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kg/cm ²	184～	184～	184～	184～
			KPa	18000～	18000～	18000～	18000～
		ファン駆動ベルトの張り	mm	14～20	14～20	14～20	14～20
動力伝達装置	クラッチ又はインテリゲンダペダル	測定位置・条件	kg	11.2	11.2	11.2	11.2
		(kgとNの両方で表記)	N	110	110	110	110
	主クラッチ型	ベダル取り付け高さ	cm	—	—	—	—
		ベダルの遊びのストローク	cm	—	—	—	—
		ベダルの全ストローク	cm	—	—	—	—
	流体継ぎ手型	ブースタ油圧又はクラッチシリンダ油圧	kg/cm ²	—	—	—	—
			KPa	—	—	—	—
		トルコン油圧	kg/cm ²	—	—	—	—
			KPa	—	—	—	—
	ミッション潤滑油圧	クラッチ油圧	kg/cm ²	—	—	—	—
			KPa	—	—	—	—
ステアリング装置	ミッション油圧	(ミッション油温)	(℃)	—	—	—	—
		(エンジン回転速度)	(rpm)	—	—	—	—
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm	—	—	—	—
			N・m	—	—	—	—
	レバー	レバー遊びのストローク	cm	—	—	—	—
		レバーの全ストローク	cm	—	—	—	—
	ステアリングクラッチ油圧又はステアリングクラッチ油圧	(油温)	kg/cm ²	—	—	—	—
		(回転速度)	KPa	—	—	—	—
			(℃)	—	—	—	—
			(rpm)	—	—	—	—

D4K	D3K2		D4K2		D5K2			
LGP	XL	LGP	XL	LGP	XL	LGP		
JLF00001～	KLL00001～	KLL00001～	KMM00001～	KRR00001～	KWW00001～	KYY00001～		
検査基準値								
2650	2650	2650	2650	2650	2650	2650		
950	950	950	950	950	950	950		
—	—	—	—	—	—	—		
(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)		
(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)		
2.9～	2.9～	2.9～	2.9～	2.9～	2.9～	2.9～		
280～	280～	280～	280～	280～	280～	280～		
(60～70)	(60～70)	(60～70)	(60～70)	(60～70)	(60～70)	(60～70)		
(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)		
0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05		
0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05		
[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]		
～3.6	～3.6	～3.6	～3.6	～3.6	～3.6	～3.6		
350	350	350	350	350	350	350		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(250)	(250)	(250)	(250)	(250)	(250)	(250)		
184～	184～	184～	184～	184～	184～	184～		
18000～	18000～	18000～	18000～	18000～	18000～	18000～		
14～20	14～20	14～20	14～20	14～20	14～20	14～20		
11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2		
110	110	110	110	110	110	110		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D3K		D4K		D5K
		仕様		XL	LGP	XL	LGP	XL
		適用号機		FFF00001～	LLL00001～	MMM00001～	RRR00001～	WWW00001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト 張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
		鉄シユ 張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
		履板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	kg・m N・m	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm
		ブレードチルトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯
		リッパリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm
		リッパシヤンクシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
	作業速度	ドーザ・ショベル バケットシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
		(作動油温)	(℃)	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65
		ブルドーザ ブレード上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大
		リッパ上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
		バケットチルトバック(又はダンプ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
		(作動油温)	(℃)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² MPa (℃)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)

D5K	D3K2		D4K2		D5K2			
LGP	XL	LGP	XL	LGP	XL	LGP		
JLF00001～	KLL00001～	KLL00001～	KMM00001～	KRR00001～	KWW00001～	KYY00001～		
検査基準値								
—	—	—	—	—	—	—		
図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照		
—	—	—	—	—	—	—		
9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め		
勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可		
17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm		
33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯		
6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm		
—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分		
				—	—			
				—	—			
38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65		
2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大		
1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大		
				—	—			
				—	—			
38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65		
211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)		

キャタピラー

図 1. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 の履帯の張り測定方法

●トラックの張り点検

車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。

トラックのたるみをストレート・ゲージを使って測定し、適正値であるか点検する。

たるみ量 50～70mm が適正値である

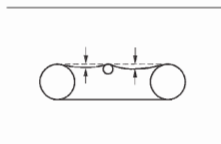


図 2. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 履帯調整方法

1. 車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。
2. バルブ・カバーを外す。(図は開けた状態)
3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ (1) からマルチバーパス・グリース (MPGM) を充填する。
トラックを緩める場合、リリース・バルブ (2) を反時計方向に回す。
次に、トラック調整バルブ (1) を 1 回転させて開けて、グリースを逃がす。
その後、リリース・バルブ (2) を閉めてください。
5. バルブ・カバーを閉じる。
6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。

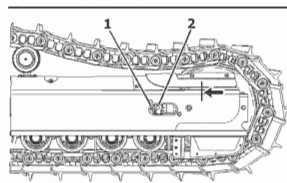
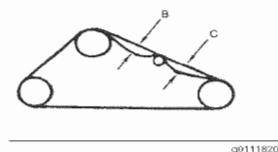


図 3. D6N 履帯の張り測定方法

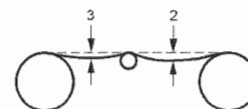


DJA00001～、DJY00001～ : B、C ともに 35 ± 6 mm

MWL00001～、GHS00001～ : $(B+C) \div 2 = 45 \pm 5$ mm

g91118207

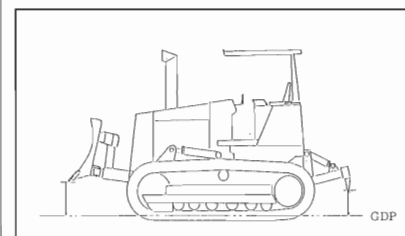
図 4. D6K 履帯の張り測定方法



$(\text{"2"} + \text{"3"}) \div 2 = 35 \pm 6$ mm

図 5. D6N, D6K

リフトおよびリッパ・シリンダの自然伸縮測定方法



- 1) ハイドロリック・オイル温度を規定値まで上げ、作業装置もしくはリッパを、地面から 254mm 離れるまでリフトし、エンジンを停止する。
- 2) 油温における単位時間内の降下量を測定する。

図 6. チルト・シリンダのドリフト試験手順

- 1) ハイドロリック・オイルの温度を規定値まで上げた状態で、チルト・シリンダを完全に収縮する。
- 2) ドーザを下げ地面に押し付け、フロント・アイドラを地面から離し、コントロール・レバーを「保持」位置にしてエンジンを停止。
- 3) 規定時間内でのシリンダのドリフト距離を測定する。

図 7. D6N, D6K

作業機速度測定方法

- リフト : リフトを下げ最大位置 (地面) から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。
- リッパ : リッパを下げ最大位置 (地面) から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。

